

A0204-02	現場取付計器や検出端を作業の手懸りや踏み台にするな		
本文	現場計器に誤って強い外力を加えることにより、測定値の誤差或いは測定不能による工程トラブルを起こす。また、計器破損により外力を加えた人の転倒、転落などの人身事故を起こす可能性もある		
リスクの種類	計測不能 制御の乱れ 労災	関連目次・章節	
理由(何故)	計器類は強い外力に耐える設計で製作されたものではないので、外力による歪により測定、指示、発信機能が損なわれる恐れがある。また計器の取付・固定も頑丈にされていないので、強い外力により用意に変形する場合が多い。		
方策	<p>運転中は勿論であるが、非定常時作業に従事する(請負業者)従業員にも徹底するよう指導する。</p> <p>計器を誤って手懸りや踏み台にしないよう取付位置に配慮すると共に、必要なら保護カバーを取り付ける。</p> <p>頻度の多い非定常時作業が必要な場合は固定的足場を設ける。</p>		
事故例	協力会社を含め作業員教育不足による保守作業中の事故例が多い。		
法的参考事項			
備考	25A以下の小配管またはプラスチック配管を手がかり、足場にしない。		